

HELLO



Vol.10

令和2年9月15日 発行

袋井市役所総務部国際課国際交流係

TEL 0538-44-3138

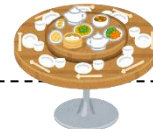
FAX 0538-43-2132

MAIL international@city.fukuroi.shizuoka.jp

FROM FUKUROI



ウォン スーニー さん 出身：マレーシア
所属：袋井国際交流協会相談員（中国語、マレー語）



ハロー、みなさん。
マレーシア出身のウォン スーニー（黄素妮）です。袋井国際交流協会の外国人相談窓口の相談員として働いています。袋井市に引っ越してきてからもう20何年が立ちました。袋井市は私にとって第2の故郷だと思っています。本当に、光陰矢の如しです。
今回、私の生まれ育った国マレーシアを紹介したいと思います。マレーシアは人口約3,258万人、面積は33万km²です。1957年にイギリスから独立し、65年にシンガポールがマレーシアから独立・分離し、今のマレーシアの形となりました。首都クアラルンプールにあるKLタワー・ツインタワーはマレーシアの一つのシンボルです。日本より小さい国ですが、マレー系、中華系、インド系という3つの主要な民族とその他の先住諸民族から構成される多民族社会です。各民族の言語で初等教育を受けます。公立小学校としてマレー語を使用する国民学校、華語（マンダリン）およびタミル語を使用する国民型学校がそれぞれあります。主要3大民族（マレー人、華人、インド人）の両親たちは自分たちの民族語を使用する小学校に子どもたちをそれぞれ通わせることが多いです。



KLタワー・ツインタワー



肉骨茶（バクテー）

マレーシアは食通も唸るグルメ天国としてよく知られます。豊富な魚介や農作物に恵まれたこの国では、マレー料理を中心に中国南部の福建・広東料理やタイ、インドなどさまざまな料理が楽しめます。マレーと中国文化の融合から生まれたニョニャ料理はその典型的な例です。店の種類も多種多様で、クアラルンプールやジョージタウンなどの都会ともなれば、屋台から高級レストランまで予算と目的に応じて選ぶことができます。私が一番お勧めしたいマレーシア料理は肉骨茶（バクテー）です。スペアリブなどを漢方薬に用いる生薬と中国醤油で煮込んだ料理で、さっぱりした味と豊富なスタミナで食欲を刺激します。
最後ですが、2006年より13年連続で日本人が移住してみたい国 No.1 のマレーシアに是非お越しください。Let's go to Malaysia!

春節とは中国の正月のことです。伝統ある祝い事で、中華圏で最も大切な祝日です。春節には家族が集まり、餃子などを食べたり、「福」の字で家を飾ったり、また春晚(中国の紅白歌合戦)を見るなど、賑やかです。

平成31年1月13日(日曜日)、袋井南コミュニティセンターで、市内の日本人20人及び外国人30人が集まり、「2019袋井春節祭」を開催しました。集まった人たちは、4グループに分かれ、手作り水餃子に挑戦しました。水餃子は、春節に中国北方で食べられる代表的な食べ物で、大晦日から家族が集まって餃子を作ります。餃子には幸運を包み、それを食べて裕福になるという意味があります。参加者は作りながら、春節の習慣や文化また餃子の作り方などについて会話を交わしました。その後、交流会では、中国版の紅白歌合戦「春晚」の動画を見ながら、水餃子を食べました。「春晚」は歌だけではなく、雑技、漫才、踊りもあり、参加者は動画を見ながら、中国の文化について学びました。食事後は、ゲームや折り紙で交流し、会場内は盛り上がりしました。



最後に、参加者たちは中華圏ではよく知られている歌「ゴォン シィー ゴォン シィー(恭喜恭喜)」を歌いながら、お互いに中国の新年挨拶のジェスチャーで新年の挨拶を交わしました。